

No.206

令和元年6月7日

鹿児島県立甲南高等学校

鹿児島市上之園町23番地1

TEL (099) 254-0175

題字 永野弘行(本校教諭)

甲南だより



「二計」と「半九」

校長 西橋瑞穂

2019年度を迎えて早くも約二か月が過ぎ、その間に、新しい時代「令和」を迎えました。五月一日午前零時を迎ると、鹿児島本港区に停泊している船が汽笛を鳴らし、それに続いて、クラッカーや花火の音が聞こえてきました。今回

の改元は、前天皇陛下の御退位及び新天皇即位に伴うものだから、昭和から平成に変わったことは雰囲気が違つて、お祝いムードだ。町行く人々も新しい時代の到来を慶ぶとともに、心機一転頑張ろうとい

ンタビューリーに答える表情も明るかった。皆さんには、どんな気持ちでこの「令和」という新しい時代を迎ただろうか。

「一日の計は朝(あした)にあり。一年の計は春(元旦)にあり。一生の計は少壯の時(江戸時代の儒学者である安井息軒の言葉で)

ある。何事を志すにしても、まず、最初が肝心で、一生で言えば、若いうちこそが大切。奮起して勉強せよ、ということだ。

事の初めには、誰しも頑張ろうと思うものである。朝は、「頑張るぞ!」と気合いを入れる。元旦には、「充実した年にするぞ!」と決意するところが:である。いざ始まつてみると、その決意も、いや、どうかすると、決意したことすら忘れてしまつていることがある。

息軒が、自らの座右の銘と

した言葉に「半九」というものがある。これは中国の古典である『戦国策』の中の「百里を行く者は九十を半ばとす」という言葉を縮めたものである。何事も最後までやり遂げるには、その終わりが最も困難で、苦労するものであるから、九分を通り越したころをようやく半分まできたと奮起して勉強せよ、ということが大

切である、という意味である。先日、韓国岳に登つた。そなことを想定しつつ、万一に備えて必要な物をリュックに入れる。登る時には岩や石ころに足を取られないように細心の注意をする。頂上に到達すれば、御褒美の絶景!これ

が見たくて、一生懸命登るのだが。そして、下山。下りは息が上がらない点では楽だが、

私は、入学式で、新入生に「Spread your wings」とい

平成31年度入学式

新たなる時代とともに 新たなる甲南へ 第73期生甲南に挙り立つ

4月9日(火)、平成31年度入学式が多くの方々に見守られながら厳かに挙行されました。

吹奏楽部の奏でる『威風堂々』の中、新入生は温かい拍手に迎えられ、堂々と入場しました。

最初に西橋校長が壇上で見守る中、8人の担任が新入生をクラス毎に一人ずつ呼名しました。そして、西橋校長の入学許可の宣言の後、新入生代表の伊地知祐作くんが、甲南高校生として目標達成に努力すると力強く宣誓をしました。

西橋校長は式辞の中で、恵まれた環境で勉強や運動ができるることは当たり前ではなく、幸せであることを認識し、世界のあちこちで起こっている悲しいことに、そして地球上の様々な課題にしっかりと目を向け、自分たちに何かできないかということを考えられるようになってほしいと挨拶。そして、「Spread your wings!」(「恐れることなく翼を広げ、様々なことにチャレンジして!」)という言葉を贈りました。

久保浩司PTA会長は祝辞の中で、皆さんが持っている能力や才能を大きく開花させてほしいと話されました。

生徒会長の上山太郎くんは、新入生に対し「失敗を恐れず、挑戦すること」とアドバイスし、共に新たな歴史を築いていこうと激励しました。

入学式後の各教室では初めてのHRが行われ、甲南高校での生活のあり方を説明する担任の言葉に熱心に耳を傾ける新入生の姿が見られました。



石がごろごろしていたり、乾ききつていなかつたりする山道を下るのはかなり気を遣う。しかし、あと少しだと思ったら、あとは、その終わりが最も困難で、苦労するものであるから、九分を通り越したころをようやく半分まできたと奮起して勉強せよ、ということが大

切である、という意味である。先日、韓国岳に登つた。そなことを想定しつつ、万一に備えて必要な物をリュックに入れる。登る時には岩や石ころに足を取られないように細心の注意をする。頂上に到達すれば、御褒美の絶景!これ

が見たくて、一生懸命登るのだが。そして、下山。下りは息が上がらない点では楽だが、

私は、入学式で、新入生に「Spread your wings」とい

した言葉に「半九」というものがある。これは中国の古典である『戦国策』の中の「百里を行く者は九十を半ばとす」という言葉を縮めたものである。何事も最後までやり遂げるには、その終わりが最も困難で、苦労するものであるから、九分を通り越したころをようやく半分まできたと奮起して勉強せよ、ということが大

切である、という意味である。先日、韓国岳に登つた。そなことを想定しつつ、万一に備えて必要な物をリュックに入れる。登る時には岩や石ころに足を取られないように細心の注意をする。頂上に到達すれば、御褒美の絶景!これ

が見たくて、一生懸命登るのだが。そして、下山。下りは息が上がらない点では楽だが、

私は、入学式で、新入生に「Spread your wings」とい

した言葉に「半九」というものがある。これは中国の古典である『戦国策』の中の「百里を行く者は九十を半ばとす」という言葉を縮めたものである。何事も最後までやり遂げるには、その終わりが最も困難で、苦労するものであるから、九分を通り越したころをようやく半分まできたと奮起して勉強せよ、ということが大

切である、という意味である。先日、韓国岳に登つた。そなことを想定しつつ、万一に備えて必要な物をリュックに入れる。登る時には岩や石ころに足を取られないように細心の注意をする。頂上に到達すれば、御褒美の絶景!これ

が見たくて、一生懸命登るのだが。そして、下山。下りは息が上がらない点では楽だが、

私は、入学式で、新入生に「Spread your wings」とい